

第7回
自治体国際交流表彰
(総務大臣賞)

受賞団体事例紹介

平成 25 年 6 月 17 日
総 務 省
財団法人自治体国際化協会

自治体国際交流表彰の概要

1 事業の目的

本表彰事業は、日本の自治体と海外の自治体との姉妹自治体提携等に基づく交流活動（以下、「自治体国際交流」という。）のうち、創意と工夫に富み、地域の振興に資するような取組を行っている団体を表彰し、広く全国に紹介することによって、自治体国際交流の更なる活性化を図り、もって、地域の国際化に資することを目的に、平成18年度から毎年度実施しております。第7回表彰は名称を従前の「姉妹自治体交流表彰」から「自治体国際交流表彰」と変更し、姉妹自治体交流だけでなく、特定分野の交流などについても広く募集いたしました。

2 主催

総務省、財団法人自治体国際化協会

3 表彰対象

先進性、独自性、継続性、活発性、協働性・連携性、及び効果等の面から優れた自治体国際交流を行っている都道府県、政令指定都市、その他の市区町村、及び地域国際化協会・国際交流協会等の民間非営利団体※を対象とします。

※民間非営利団体は、都道府県または市区町村（政令指定都市を含む。）を經由して応募する必要があります。

4 賞の内容

総務大臣賞 3団体以内

5 応募・審査

応募のあった団体、及び都道府県・政令指定都市から推薦のあった団体について、別途設置している「自治体国際交流表彰審査委員会」（委員長：中邨章 明治大学政治経済学部名誉教授）における審査を経て、総務省及び財団法人自治体国際化協会が受賞団体を決定します。

⇒第7回表彰事業では、32団体から応募があり、厳正な審査の結果、以下の3団体を「総務大臣賞」として決定しました。

【総務大臣賞】

公益財団法人水戸市国際交流協会（茨城県）、大府市（愛知県）、周防大島町（山口県）

6 その他

次回第8回の表彰は、平成25年7月以降に各自治体（国際交流担当課）を通じて募集する予定です。詳細は、以下のお問い合わせ先までご連絡ください。

【問い合わせ先】

財団法人自治体国際化協会 交流支援部交流親善課

住所：〒102-0083 東京都千代田区麹町1丁目7番 相互半蔵門ビル6階

電話：03-5213-1723 FAX：03-5213-1742 E-mail:shimai@clair.or.jp

URL：http://www.clair.or.jp/j/exchange/shien/hyoushou.html

総務大臣賞

公益財団法人
水戸市国際交流協会

提携先:アナハイム市
(アメリカ合衆国)
提携年月日:1976年12月21日



国際親善姉妹都市アナハイム市との交流事業 ガンバレ！MITO！～アナハイムからの応援メッセージ展～

地域の概要	交流事業の概要
<p>水戸市国際交流協会（水戸市）</p>  <p>◇人口：270,192人（H25.5.1） ◇面積：217.43km² ◇概要：茨城県の中部に位置する同県の県庁所在地です。日本で最初に市制を施行した全国31都市の一つで、水戸徳川家ゆかりの歴史に加え、日本三名園の一つである偕楽園や千波湖などの豊かな自然に恵まれるほか、県都として政治、経済、文化等の都市機能が集積しています。協会は平成7年に設立され、海外都市との交流や地域の多文化共生推進のための事業を展開しています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●1974年、アナハイム市在住の水戸市出身の実業家が、中学時代の恩師をアナハイム市に招待したことを機に人的交流が始まり、アメリカ合衆国建国200年祭にあたる1976年、両市は国際親善姉妹都市を締結しました。 ●両市は幾多の交流活動を重ねて今日に至っており、市民訪問団や青少年の相互訪問を中心に、小学校間の交流や教育交流事業など多岐にわたり、互いの文化への理解を深める交流が続いています。 ●東日本大震災直後、アナハイム市では、過去に水戸市を訪れた学生親善大使の呼びかけにより、多大な被害を受けた水戸市民へ励ましの手紙を送るキャンペーンが実施されました。アナハイム市民から送られた3,200通の手紙を市内の幼稚園や小中学校へ届けるとともに、水戸市国際交流センターにおいて展示しました。これらの手紙は、子どもから大人まで多くの水戸市民の目に触れ、また感謝の意を伝える手紙を返信することで市民間の交流が続いています。 ●応援メッセージ展を通して、互いの市民が姉妹都市交流を身近に感じるとともに、より連携の絆が強まりました。今後は、これまで培ってきた相互交流を基に、多種多様な姉妹都市交流事業を市民と行政が協働し、展開していきます。
<p>アナハイム市</p>  <p>◇人口：341,034人 ◇面積：129.03km² ◇概要：カリフォルニア州南部に位置するオレンジ郡最大の都市です。雨が少なく温暖な常春の気候で、新鮮な野菜や果実が豊富です。世界的にも有名なディズニーリゾートを中心とした観光産業が盛んで、年間を通じて多くの観光客が訪れます。また、大都市に近く、交通網が発達しているため、ビジネスにも最適な街として知られています。</p>	<p style="text-align: center;">評価のポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> ⇒ 震災支援では、姉妹都市であるアナハイム市から多くの思いやりの手紙が寄せられており、草の根で国際都市交流が浸透していることが伺われる。 ⇒ 震災の教訓を生かした防災対策への取組に連携する点は、今後の自治体国際交流のモデルになる可能性がある。 ⇒ 既存事業を客観的に評価することで、課題を認識し、改善を図ろうとする姿勢は、今後の国際交流事業の充実につながる事が期待される。



アナハイム市特使からの励ましの手紙を受け取る水戸市長(当時)



「ガンバレ!MITO! ～アナハイムからの応援メッセージ展」の開催



子どもから大人まで多くのアナハイム市民から届いた心温まるメッセージの数々



展示会場内に設置された「お返事ポスト」
(感謝の手紙2,160通をアナハイム市へ郵送)



アナハイム市長に被災・復興状況を伝える
水戸市学生親善大使



「励ましの手紙キャンペーン」の発案者 ダニエル・ヴァルガスさん(震災前にアナハイム市学生親善大使として来水)

【問い合わせ先】

公益財団法人水戸市国際交流協会

住所：〒310-0024 茨城県水戸市備前町 6-59

電話：029-221-1800 FAX：029-221-5793

E-mail：mci@mito.ne.jp

URL：http://www.mitoic.or.jp/

総務大臣賞

大府市

提携先:ポート・フィリップ市
(オーストラリア連邦)
提携年月日:1993年11月20日



姉妹都市交流事業

地域の概要

交流事業の概要

大府市



◇人口:87,836人(H25.3.31)
◇面積:33.68km²
◇概要:名古屋市の南に隣接するベッドタウンで、自動車関連の産業活動が活発に行われています。市制施行以来「健康都市」をまちづくりの基本理念としており、健康・医療・福祉・介護関連の施設が集積する「あいち健康の森」等を活用して、長生きを喜べる「幸齢社会」の実現に取り組んでいます。

ポート・フィリップ市



◇人口:91,526人
◇面積:20.62km²
◇概要:メルボルンの南に隣接する美しい海岸を持つ観光都市で、公園が多く、街の通りにはオープン・カフェが建ち並び、週末には多くの観光客がやって来ます。住民に芸術家が多く、住民の4分の1は海外からの移住者で、さまざまな人種、文化が入り混じった街でもあります。

- 1985年11月ポート・フィリップ市のエルウッド・カレッジと愛知県立大府東高校が姉妹校提携を結んだことが交流の契機です。1993年11月に姉妹都市提携をし、2013年に20周年を迎えます。
- 行政分野では1998年より職員交換派遣事業を実施しています。毎年交互に職員を3ヵ月間派遣し、プロジェクトを実施します。
- 教育分野では1994年より中学生海外派遣事業を実施しています。派遣生徒は姉妹校訪問やペンギン保護活動などへの参加をします。
- 環境分野ではオーストラリア発祥の地域清掃活動に倣い、1993年より「クリーン・アップ・ザ・ワールド・イン大府」を開催しています。またペンギン保護の募金活動も実施しています。
- 2011年の東日本大震災発生時にはポート・フィリップ市が震災復興支援イベントを開催しました。義援金は大府市を通じ、大府市の友好都市である岩手県遠野市へ送られました。
- 2013年は20周年を記念し、市民訪問団などの事業が企画されています。今後も姉妹都市交流を通じ、「多文化共生社会」の実現を目指していきます。

評価のポイント

- ⇒ 職員交換派遣事業、中学生海外派遣事業を姉妹都市交流の重要な事業とし、人材育成に取り組んでいる点に加え、環境保護活動(ポート・フィリップ市からの呼びかけで始まったクリーン・アップ・ザ・ワールド・イン大府、ペンギン保護活動への支援)、ポート・フィリップ市が取り組んでいる東チモールへの共同支援等、ユニークな活動を行っている点が評価できる。
- ⇒ 小学校同士の姉妹校提携にもつながっており、裾野の広い姉妹都市交流が展開されている。
- ⇒ 職員交換派遣事業が、豪州姉妹都市協会より2度にわたって表彰される等、交流相手先においても高く評価されている。



ポート・フィリップ市に派遣された大府市職員が防災講座を実施



ポート・フィリップ市の海岸突堤に建てられた、大府市からのペンギン募金に対する感謝プレート



中学生派遣事業にて、エルウッド・カレッジの生徒との交流



ポート・フィリップ市職員の提案で大府市中央図書館に作られた、ポート・フィリップ市寄贈の図書コーナー



クリーン・アップ・ザ・ワールド・イン・大府の様子



姉妹都市提携 10 周年記念のレセプション

【問い合わせ先】

大府市市民協働部協働促進課

住所：〒474-8701 愛知県大府市中央町五丁目 70 番地

電話：0562-47-2111 FAX：0562-47-7320

E-mail：kyodo@city.obu.lg.jp

URL：http://www.city.obu.aichi.jp/

👑 総務大臣賞 👑

周防大島町

提携先: ハワイ州カウアイ郡
(アメリカ合衆国)



提携年月日: 1963年6月22日

姉妹島国際交流事業

地域の概要

交流事業の概要

周防大島町



◇人口: 19,110人 (H25.4.1)
◇面積: 138.17km²
◇概要: 山口県東南部に位置し、瀬戸内海に浮かぶ島では3番目の面積を有し、島と本土とは大島瀬戸を渡る大島大橋によって連結しています。
年間平均気温 15.5℃と比較的温暖な気候、青く澄みわたる瀬戸内の海と四季の彩り豊かな美しい自然を有する町です。
高齢化率は48.6パーセントと高い数値となっていますが、元気なお年よりの多い「長寿の島」、「生涯現役の島」として知られています。

ハワイ州カウアイ郡



◇人口: 67,091人
◇面積: 1,430.4km²
◇概要: ハワイ諸島で最も古く最北端に位置するカウアイ島は、ハワイで4番目に大きく、長い歳月と天候によって形成されたエメラルド色の溪谷、尖った山頂や険しい崖、熱帯雨林、分岐した川、連なる滝といった絶景が数多くあり、「庭園の島」と呼ばれています。

- 周防大島町とハワイとの国際交流は、第1回官約移民船がハワイに到着した1885年、遠い異国の地に夢と希望を抱き移住した先人達のパイオニア精神により始まり、1885年~1894年までの10年間に3,900人あまりのハワイ移民を送り出してきました。こうした歴史を背景に、ホノルル市長、ホノルル在住大島郡出身者の仲介により、1963年6月22日、ハワイ州カウアイ島と姉妹島提携を締結しました。
- これを機に、両島首長、市民の相互訪問を開始し、高校生のカウアイ島サマースクールや修学旅行の実施、交換留学生の派遣など、文化、産業、スポーツ交流など、多岐にわたる交流活動を展開しています。半世紀にわたる交流によって築かれてきた友好と信頼は何ものにも代えることができない共有財産となっています。
- また、カウアイ島民と共に培ってきた姉妹島の絆をより強固なものとするため、姉妹島提携50周年記念前年祭を2012年7月、周防大島町にて開催し、交流を未来へとつなげていくため、交流宣言書を交わしました。50周年記念式典はカウアイ島で2013年10月11日に行われる予定です。
- カウアイの人々が大切にしているアロハの心（アロハスピリッツ）と、周防大島町の人々が大切にしている「おもてなしの心」の融合から始まった交流の軌跡は、両島の発展を願った先人達によって築かれてきた歴史でもあり、大切に継承されています。

評価のポイント

- ⇒ 官約移民で結ばれた縁から、日系移民の歴史と文化を保存・継承することに連携して取り組み、相互理解に努めている。
- ⇒ 姉妹提携をきっかけとするフラダンスの普及・啓発活動が、観光や地域活性化につながるまでに発展している点は特筆すべきものである。
- ⇒ カウアイ郡との姉妹都市関係を縁として、東日本大震災の際、カウアイ郡と交流がある日本国内のいわき市ともつながり、3都市間の交流にも広がっている点は表彰に値する。



交流を未来へとつなげていくために交わした
交流宣言書



カウアイ島から来町された一行が小学校を
訪問し、生徒にフラダンスをレッスン



青少年海外派遣事業でカウアイの高校生と交流



カウアイ日本文化祭にて、日本舞踊を披露



アロハキャンペーン期間中、役場、郵便局、銀行、
ホテル等でアロハシャツを着用



アロハキャンペーン開幕セレモニーにて、
カウアイ島からプレゼントされたフラを披露

【問い合わせ先】

周防大島町総務部政策企画課

住所：〒742-2192 山口県大島郡周防大島町大字小松 126-2

電話：0820-74-1007 FAX：0820-74-1015

E-mail：seisakukikaku@town.suo-oshima.lg.jp

URL：http://www.town.suo-oshima.lg.jp/